



準優秀賞 「KASAWIZ (カサウイズ)」

濱田 有希
私立相模女子大学高等部

Come with me... Kasawiz 雨の日をもっと快適に

【アイデア】

手で持たず、自分の頭上を飛行してくれる傘のロボット。

【思いついたきっかけ】

雨の中、荷物を持ったまま傘をさすのが大変だったから。

【このアイデア作品を使うことの利点】

傘をささなくてよい。自転車の片手運転による自己が減少する。

【アイデア名の由来】

「ついていく」を英訳した「Come with」をかつこよくアレンジし、作品が傘なので「Come」を「Kasa」に変え、「Kasawiz」と命名。またこの傘の原形が「笠」であるため、用途は「傘」であるが、「笠」とアピールすることで日本文化の存続と外国人の興味をひくことを狙っている。キャッチフレーズは、「雨の日をもっと快適に」。

【アイデアの説明】

- ・傘の四隅に1つずつプロペラをつけ、これで飛行させる (イラスト図1①参照)
- ・プロペラの付け根を 360 度回転させることにより、飛行させやすく、折り畳む際にはプロペラが出っぱらないようにする (イラスト図1②参照)
- ・傘の頂点に、モーターやバッテリー、ジャイロセンサを組み込む。ジャイロセンサを使うことでkasawiz自身で飛行を制御できる。カバーは完全防水。(イラスト図1③)
- ・kasawiz 本体に位置情報を送信する発信器をかばんや衣服に取り付けることでkasawiz 利用者の頭上を飛行できる。(イラスト図2①参照)
- ・発信器には防水きせきえカバーをとりつけられるため、ファッションに合わせてきせかえができる。(イラスト図2②)
- ・kasawiz 本体を使用しない場合は発信器に取り付けられるので、手で持たずに済む。(イラスト図2③)
- ・kasawiz 本体の内側には取っ手がついており、ここに電源ボタンがついている。(イラスト図3参照)
- ・この取っ手はおりたたみ傘のように伸ばすことができ、おりたたみ傘と同じように手動でたたむことができる。(イラスト図4参照)
- ・傘の骨は折れにくいプラスチック製を使用する。
- ・他の kasawiz や障害物に当たらないようにするためのセンサも組み込む。
- ・暴風でも使用可能にする。
- ・なるべく軽量化する。
- ・人に当たって怪我をさせないように安全性を向上させる。

